

えがお

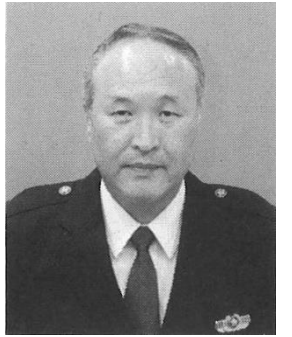
編集・発行

羽生市青少年育成推進員協議会

お問い合わせ

教育委員会生涯学習課

羽生市東6丁目15番地



羽生警察署長
小林 勝 則
じよ 怒の心

私たち羽生警察署員の理念や心構えとして、平成元年12月19日、第80代署長千原晃警視が制定したものの一つとして、「怒の心(じよのこころ)」が現在も引き継がれています。

「怒の心」は仏教から来ている言葉であり、古代孔子は「それ恕か。己の欲せざるところ、人に施す勿かれ」と、「自分がされて嫌なことは他人にしてはいけない」と説いています。

毎年採用される若手警察職員を含めた全ての警察署員に対して、「自分がされて嫌なことは他



羽生市長
河田 晃 明
子どもたちのえがお
あふれる社会へ

「豊かな学びで夢と希望が輝く羽生の教育」を基本理念に、羽生市では誰もがが生涯を通して多様な学びで生きる力を育み、夢と希望が持てる社会の実現を目指しています。

次世代を背負う子どもたちを取り巻く環境は、核家族化・少子高齢化の進展やライフスタイルの多様化などにより日々刻々と変化しています。結果として人間関係が希薄となり、家庭や地域の教育力の低下が叫ばれるようになりました。

人にしてはいけない」、つまり「相手の立場に立ち、相手の心を汲む」ということを日頃から指導しながら業務に取り組んでいます。

家庭や学校等において、子どもたちを指導することは大変難しいと感じておりますが、この「怒の心」は、子どもたちが心身共にたくましく成長するために大切なものの一つだと思っております。

本誌の表題の「えがお」には、きっと「相手の立場に立ち、相手の心を汲む、素直で思いやりのある子どもに育ってほしい」という強い願いが込められているのではないのでしょうか。

明日の社会を担う子どもたちが、心身ともに健康でたくましく成長されるよう、羽生市青少年育成推進員協議会の皆様やご家庭、学校関係者の皆様方には、引き続き、子どもたちの健全育成にご尽力を賜りますようお願いを申し上げます。

子どもたちが健やかに育つには、学校、家庭、地域が連携し、積極的に子どもたちと関わるのが重要です。地域の宝でもある子どもたちがのびのびと、そして笑顔に満ちあふれた毎日を過ごすためには、市民の皆様が必要ですよ。

これからも家庭と地域、そして行政が一体となつて、地域の子どもは地域で育てるという認識の下、青少年育成関連事業を推進してまいります。皆様のご理解、そしてご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

羽生の子どもたちの健全育成のために、木村眞佐子代表をはじめとする羽生市青少年育成推進員協議会の皆様、そして、地域の皆様のご健勝を祈念申し上げ、挨拶いたします。

「心のスイッチ」

羽生市校長会会長

鳥海 一寿

コロナ禍三年、一人一台コンピュータの導入、教職員の働き方改革など学校は大きな変革の時を迎えています。しかし、教育環境がどんなに変化しようとも子どもを第一に考え、一人ひとりを大切にしたい教育を進めることが学校教育の大原則です。そして、子どもたち一人ひとり可能性に火を灯し、開花させなくてはなりません。そこで、東井義雄さんの「心のスイッチ」という詩を紹介いたします。

人間の目は ふしぎな目 見ようという
心がなかつたら 見ても見えない
人間の耳は ふしぎな耳 聞こうという
心がなかつたら 聞いていても聞こえない
頭もそうだ はじめからよい頭 わるい頭の区別があるのではないようだ
「よし やるぞ！」と心のスイッチが入ると 頭もすばらしいはたらきをはじめめる
心のスイッチが 人間をつまらなくもすばらしくもしていく
電灯のスイッチが 家の中を明るくもし暗くもするように

この詩のように、子どもたちが何かのきっかけで、自ら「心のスイッチ」を入れて、自分の力を伸ばし、夢や目標に向かって大きく成長することを願っています。



「夢への努力」

羽生市立川俣小学校

6年 大山 慧人

ぼくの将来の夢は、獣医になることです。そう思う理由は、病気やけがで苦しんでいる動物を一匹でも多く助けたいと思ったからです。

そのためには、動物の気持ちを考え、優しくよりそうことが必要です。だから、そうできるように、まずは相手の気持ちを考えて行動することが大切です。このことが獣医への第一歩だと考えます。そして、動物を助けるには、動物の体のことを知ることも大切なので、理科の学習にも力を入れています。

自分の夢のために、これからも努力を続けたいです。そして将来、自分の手で動物が安心して暮らせる世の中をつくりたいです。

夢は大きく、小さな一歩から！ …最初の一步を恐れずに…

「憧れから実現に向けて」

埼玉県立羽生第一高等学校

1年 岩崎 結

私は今、警察官の仕事に興味を持っています。きっかけは、前から困っている人を助けたいという思いがあり、将来はそのような人達への力添えが出来たらと思ったからです。また、進路学習を通して様々な職業を調べていく中で、市民の安心安全を守る警察官の仕事に憧れを持ちました。

以前、警察官の方にお話を伺う機会があり、ボランティアに参加するのも良いと教えていただきました。進路選択の幅を広げる意味でも、色々な活動に挑戦していきたいです。今は、まだ憧れですが、憧れから実現に近づいていけるように日々の努力を惜しまず、学校生活を有意義に過ごしていきたいと思っています。

【青少年健全育成に向けて】

☆防犯啓発活動の実施

- ・イオンモール羽生
- ・羽生駅構内
- ・羽生市役所
- ・一戸一灯運動

☆参加協力

- ・羽生市防犯のまちづくり推進協議会
- ・埼玉県薬物乱用防止指導員
- ・羽生地区青少年健全育成地域フォーラム



「未来を担う子どもたちを地域の中で育てる」

羽生市立羽生北小学校

校長 小峯 由起子

子どもは、「社会の宝」「地域の未来」です。行く先不透明な時代を生きる子どもたちは今、コロナ禍の影響も受け、より個に応じた支援を必要としています。学校の役割は、社会の中で自立し、誰かのためになろうという人材育成と考えます。子どもの自己肯定感を高め、個に寄り添った支援を行うには、学校、家庭、地域がより強固に結びついて子どもを育てることが重要になってきていると強く感じます。



□3年ぶりに総会や啓発活動を実施することができました。少しずつではありますが、本来の活動ができるようになったことを嬉しく思います。

編集後記

羽生地区青少年健全育成地域フォーラムは3密を考慮し、埼玉純真短期大学で開催されました。「出会い系サイト・SNSに係る諸事件とその対策」の講演を拝聴し、大変参考になりました。携帯電話の利用では、「子どもたちが犯罪に遭わないためにも、保護者の監督も必要である」と指導がありました。情報社会の中で、非行に走らず、青少年が健やかに育成するように、より望ましい家庭・学校・地域づくりを目指したいものです。

(木村)